

2 年学年だよ

大淀中学校 2 年 平成 29 年 5 月 12 日 第 6 号

<(_)>職場体験にむけての取り組み訂正

・ 24 日(水)～26 日(金) 職場体験

24 日(水)学校出発⇒各事業所⇒自宅

25 日(木)自宅⇒集合場所⇒事業所⇒自宅

26 日(金) 自宅⇒集合場所⇒事業所⇒学校

※ 1 日目と 2 日目は、自宅到着後、各自学校に電話連絡すること。

本日 12 日 6 限に班別(事業所ごと)の打ち合わせをします。前号で示した打ち合わせ場所を確認しておきましょう。

(*_*)_清掃のとき・・・

つい最近のこと、掃除が終わった直後のことです。男子生徒と話をする機会がありました。

その中で、「俺、頭悪いから・・・。」という発言がありました。

間髪入れず、「君が思っているほど、君は・・・。」ここから言いました。

自分はできないと自分で決めつけるまえに、やれるところまでやってみよう。

工夫してみよう。失敗しながらでも、進んでいこう。

それは失敗ではなくて、ひとつの経験なんだと、中 2 時代の友だちが教えてくれました。

わたしたちの脳みそには、140 億の細胞があるそうです。それを活性化させるには、人類の進化の歴史を鑑みるに、「手」を使うことではないでしょうか。

書いて覚える。声に出して覚える。時間を限定して覚える。いろいろと工夫してみよう。その過程こそが、学びの道程なのだ。

しない先にあきらめるな。

良いと思えば、すぐ実行。

◎一隅を照らす

前号の最後に、「一隅を照らす」ということばを載せました。

「片隅を照らす」ということ。学年委員長会で提案された、「ひとりぼっちでいる子に声かけをしていこう。」ということも、「一隅を照らす」ということにつながります。

このことばは、伝教大師(最澄)のことばです。歴史的なことは、自ら調べてください。

「一隅を照らす」大学時代にこのことばに出会いました。自分自身、「一隅を照らす」人間でありたいと思います。

ちなみに、屋島 豊市教頭先生にとっては、このことばは座右の銘ということなのです。

その理由については、教頭先生ご本人に尋ねてください。

☆夏の夜の虫

夏の夜の虫は、なぜ電燈に集まるのでしょうか。一説によると、タンパク質は光を求めようようです。

脳はタンパク質でできているようですから、人間は本能的に明るさを求めるのでしょうか。

ちなみにタンパク質を漢字で表記すると、蛋白質となります。面白いですね。一匹の虫は、白(光)のもとへと書くんですから!!

「明るさは人を魅きつける」司馬遼太郎の歴史大河小説『竜馬がゆく』に出てくるそのことばが、いまでも心に残っています。

☆更衣調整期間 5/9～6/9

6 月 12 日完全更衣です。

朝夕の温度差が著しいですね。体調を崩さないように過ごしてください。「暑さ」「寒さ」の感じ方はひとそれぞれです。更衣調整期間をうまく活用してください。

ただし、**身嗜みを忘れずに!!**